

◆ コンテスト・コンクール ◆

報告 図書館 森園佳子

◇ POPコンテスト ◇

今年度の応募はやや少なめの13作品でしたが、オリジナリティあふれる作品が寄せられました。その中で、まるでフレンチ・レストランのテーブルに着いているかのように思わせるPOP『ヴァン・ショーをあなたに』（近藤史恵著）を描いた中村好花さん（英語英米文学科2年）が、他の作品を押さえてみごとベストPOP賞（大賞）に輝きました。中村さんは昨年度に続く、2回目のベストPOP賞の受賞です。

また、『四畳半神話大系』（森見登美彦著）の伊豆美保さん（音楽芸術学科3年）、『獣の奏者』（上橋菜穂子著）の石垣茜さん（日本語日本文学科2年）、『パリで待ち合わせ』（デボラ・マッキンリー著）小根山桃子さん（日本語日本文学科3年）の3作品がそれぞれ入賞を果たしました。



ポスター作成：図書館



POP コンテスト入賞の3作品



◇ 創作コンクール ◇



ポスター作成：図書館

今年度の創作コンクールには詩部門6作品・戯曲部門2作品・小説部門6作品の全14作品が寄せられました。厳正な審査の結果、第1席には該当作品がありませんでしたが、戯曲部門に応募された日本語日文学科3年の池茉莉さんの「カリギュラの心臓」と、同じく戯曲部門の日本語日文学科2年の高橋貴実子さんの「天使」が、高い評価を受けて第2席に輝きました。池さんの「カリギュラ

の心臓」は、恐怖政治に敷かれた架空の国を舞台に人間の心の闇と葛藤を描いた力作で、これを役者が演じているところを観てみたいと思わせる優れた戯曲でした。作者の池さんは1年生のときにも小説部門で入賞した文才のある方なので、今後の創作にも大いに期待します。一方、高橋さんの「天使」は、アンドロイドと人間が共存する近未来を描いた秀作です。こちらは切なくも心が温まる物語に仕上がっており、テレビドラマかショート・ムービーで上映するのも良さそうです。

お二人の作品は、創作コンクール第2席以上の優秀作品を収録する作品集として製本

され、本人に贈呈するとともに図書館の蔵書として未永く保存されます。

小説部門からは、日本語日本文学科 4 年のペンネーム ^{そらいよしや} 宙井美弥さんの「^{なつあけ}夏暁の泡沫に帰す」と、日本語日本文学科 2 年の下地香名芽さんの「鱗」の 2 作品が、第 3 席に選ばれました。宙井さんと下地さんも昨年度の創作コンクールで優秀な成績を収めた方々なので、今後もさらに創作力に磨きをかけていただきたいと思います。



過去の作品集

受賞おめでとうございます



創作コンクール授賞式